



**有珠山の噴火**  
**2000年3月31日 南西側上空からアジア航測株式会社撮影**

2000年3月28日から有感地震が発生、  
30～31日に山頂部や北西山麓に断層や地割れが生じ、次第に発達拡大。  
31日の地震活動のピークが過ぎた13時07分に、  
西山西麓からマグマ水蒸気噴火が発生した。





### 十勝岳の噴火

上：1988年12月25日00時49分、下：1988年12月25日00時52分  
北西側の十勝岳火山観測所から気象庁撮影

1988年12月10日から始まったごく小規模な噴火は、  
12月16日からマグマ水蒸気噴火へと移行。  
写真は12月25日の火柱を伴う噴火で、火砕流を伴った。



### 浅間山の噴火

2009年2月9日8時39分 浅間山火山防災連絡事務所(軽井沢消防署)より気象庁撮影  
ごく小規模～小規模な噴火が9日朝から12日夜にかけて断続的に発生。  
東側山麓で降灰があった。



### 浅間山の噴火

2009年2月2日1時51分 嬬恋村大笹より気象庁撮影  
火口から主に西方向に指向した噴出(小規模な噴火)が発生。  
噴煙の高さは2000メートルまで上がり、関東地方南部まで降灰があった。





**三宅島の火山ガスの帯**  
2001年1月11日11時30分  
航空自衛隊の協力により三宅島沖東海上から気象庁撮影  
2000年の噴火活動以降、火山ガス(二酸化硫黄)の大量放出が継続した。



**富士山全景**  
1990年12月12日  
南側上空から気象庁職員撮影





**霧島山(新燃岳)の噴火**  
**2011年1月27日15時42分 新湯より気象庁撮影**

2011年1月26日07時31分から始まったごく小規模な噴火は、  
14時49分頃から本格的なマグマ噴火へと移行し、  
翌日15時41分に最初のブルカノ式の爆発的噴火が発生した。

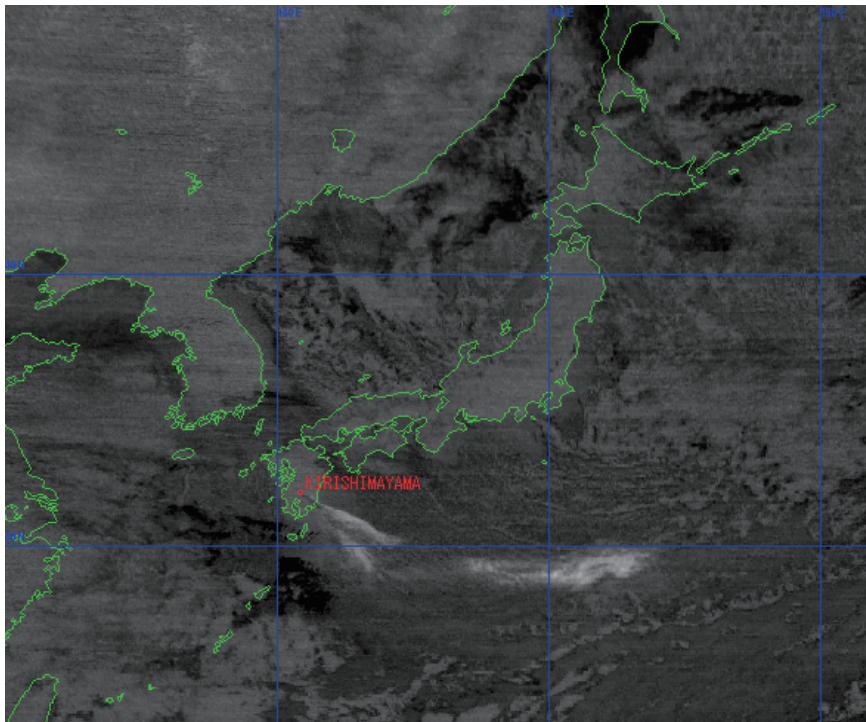




### 霧島山(新燃岳)の火口

2011年1月31日13時45分

海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣隊の協力により北西側上空から気象庁撮影  
新燃岳火口に噴出した直径500mの溶岩、最終的には直径600mに拡大し、  
その後頂部が平坦な状態となった。



### 霧島山(新燃岳)の噴煙

2011年1月27日03時00分 気象衛星ひまわり(赤外差分画像)

図中の白い部分が火山灰。





**霧島山(新燃岳)の噴火**

**2011年1月26日22時47分 韓国岳山頂より気象庁撮影**

2011年1月26日に本格的なマグマ噴火(準プリニー式噴火)が発生し、西寄りの風により大量の火山灰や軽石を宮崎県側にもたらした。





### 桜島昭和火口の火砕流

2008年2月6日11時26分 黒神河原より気象庁撮影

爆発的噴火により桜島昭和火口で2度目の火砕流が発生し、東へ約1.5km流下した。



### 桜島昭和火口の爆発的噴火

2011年8月27日21時53分 黒神河原より気象庁撮影

桜島昭和火口の爆発的噴火の様子。

夜間には、真っ赤になって4方へ飛散する大きな噴石の状況がよく分かる。